

I-1 日本人の旅行市場の概況

1 旅行者数

日本人の旅行平均回数 国内宿泊旅行2.47回、
国内日帰り旅行2.18回、海外旅行0.16回

日本人の旅行市場を「国内宿泊旅行」「国内日帰り旅行」「海外旅行」の3つに大きく分け、旅行者数を概観する。

●旅行平均回数

2019年の日本人の旅行平均回数は、国内宿泊旅行全体では2.47回/人、国内日帰り旅行全体では2.18回/人、海外旅行全体では0.16回/人であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1左を参照。

●平均泊数

2019年の日本人の旅行における平均泊数は、国内宿泊旅行全体では2.26泊/人回、海外旅行全体では8.24泊/人回で

あった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1右を参照。

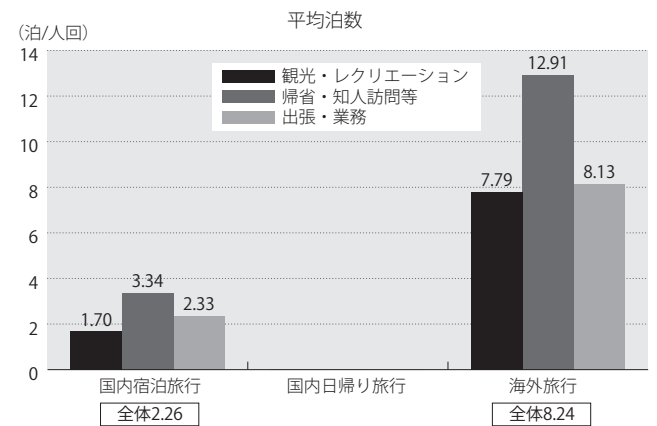
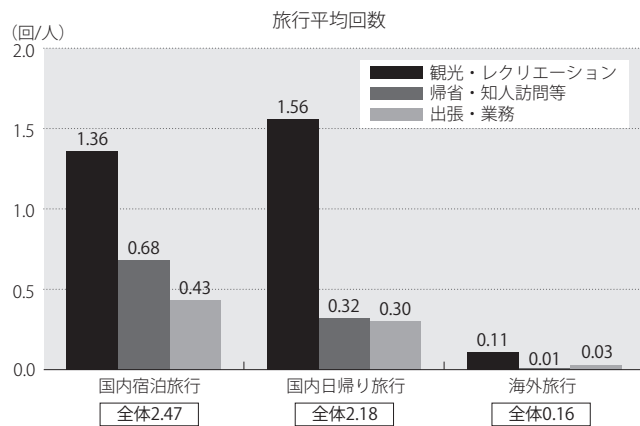
●延べ旅行者数

2019年の日本人の延べ旅行者数は、国内宿泊旅行全体では3億1,162万人回、国内日帰り旅行全体では2億7,548万人回、海外旅行全体では2,003万人回であった。いずれの旅行も、観光のシェアが5割から7割程度を占めた。また国内宿泊旅行のうち27.5%が帰省・知人訪問等、海外旅行のうち21.6%が出張・業務による旅行であった（図I-1-2左）。

●延べ泊数

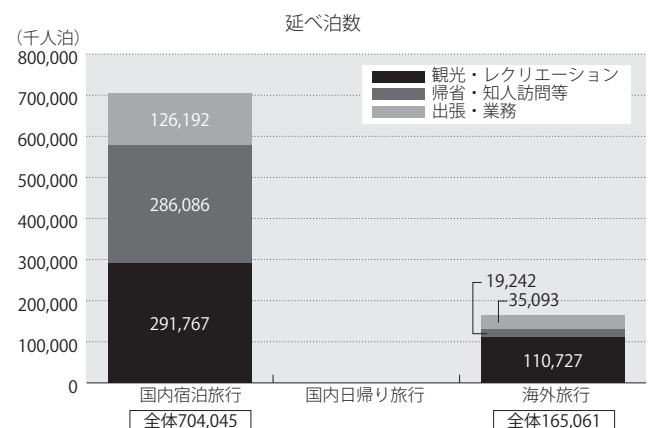
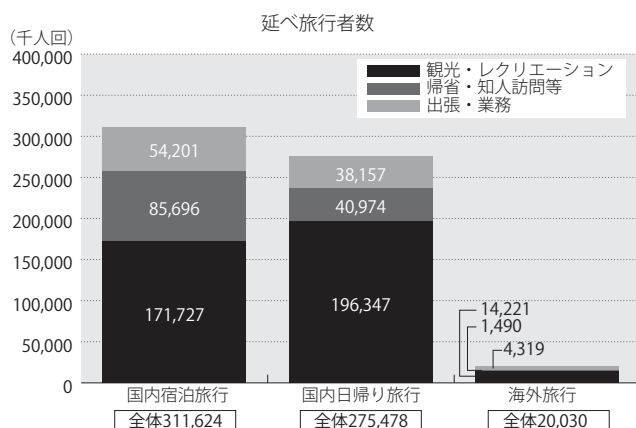
2019年の日本人の延べ泊数については、国内宿泊旅行全体では7億405万人泊、海外旅行全体では1億6,506万人泊であった。延べ旅行者数と比較して、帰省のシェアが増加、観光のシェアは減少する傾向にある（図I-1-2右）。

図I-1-1 旅行平均回数および平均泊数（2019年）



資料：いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

図I-1-2 延べ旅行者数および宿泊者の延べ泊数（2019年）



資料：いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

2 旅行市場区分(全体)

旅行全体の約半数が個人で実施する観光旅行

(1) 旅行形態および費用負担からみた旅行市場

第一に、旅行内容と旅行形態(団体・個人)に着目し、旅行市場を「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」「出張や業務旅行」「会社からみの団体旅行」「その他の旅行」の6種類に区分した。この5つの市場区分について、延べ旅行者数(単位:人回)をベースとしてそれぞれのシェアを算出すると、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めていることが分かる。国内旅行では52.4%、海外旅行では54.6%が「個人で実施する観光旅行」であった。次点は国内・海外旅行ともに「出張・業務」、第三位は「帰省や家事のための旅行」であった(表I-1-1)。

第二に、旅行市場の構造を「費用負担者」と「旅行形態」の2つの視点から検討した。

まず旅行の費用負担者として「個人負担」と「法人負担」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行者数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行においては全体の72.3%が、海外旅行においては全体の71.4%が、個人負担により実施された旅行であった(表I-1-2)。

次に旅行形態として「個人旅行」と「団体旅行」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行者数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行では個人旅行が全体の83.9%、海外旅行では個人旅行が全体の78.0%を占めた(表I-1-3)。

最後に、「費用負担者」と「旅行形態」の2つの軸によって、旅行市場を4つに区分した(図I-1-3、図I-1-4)。個人の費用負担によって行われる個人旅行が、国内旅行では66.5%、海外旅行では63.3%を占めた。

表I-1-1 旅行形態に着目した旅行市場区分シェア(2019年)

単位:(%)

市場区分	定義	国内旅行	海外旅行
個人で実施する観光旅行	個人で実施する観光旅行。スポーツ旅行。旅行会社のバック旅行に参加した場合も含める。	52.4	54.6
帰省や家事のための旅行	帰省や冠婚葬祭関連の旅行。(帰省ついでに行った観光旅行は観光・レクリエーション旅行)	14.1	8.7
組織が募集する団体旅行	町内、農協、郵便局、信金、宗教団体、サークルなどが募集する旅行。	5.7	8.1
出張や業務旅行	打合せや会議、視察目的の旅行。	17.4	14.7
会社からみの団体旅行	職場旅行や招待、報奨旅行。団体で行動する旅行。	5.1	7.0
その他の旅行	上記のいずれにもあてはまらない旅行。	5.3	6.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表I-1-2 旅行費用の負担者別にみるシェア(2019年)

単位:(%)

費用負担者	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人負担	個人で実施する観光旅行	72.3	71.4
	帰省や家事のための旅行		
	組織が募集する団体旅行		
法人負担	出張や業務旅行	22.5	21.8
	会社からみの団体旅行		
その他の旅行		5.3	6.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表I-1-3 旅行形態別にみるシェア(2019年)

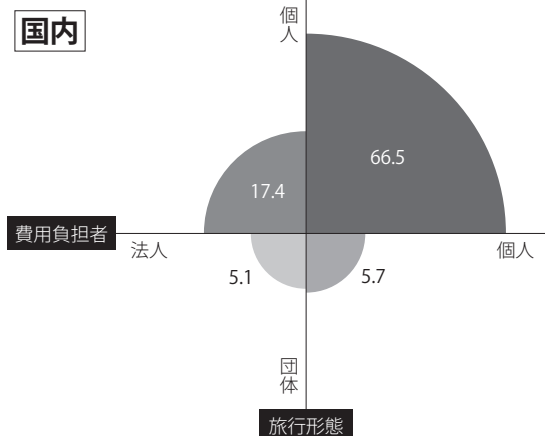
単位:(%)

旅行形態	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人旅行	個人で実施する観光旅行	83.9	78.0
	帰省や家事のための旅行		
	出張や業務旅行		
団体旅行	組織が募集する団体旅行	10.8	15.1
	会社からみの団体旅行		
その他の旅行		5.3	6.8

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-3 国内旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2019年)

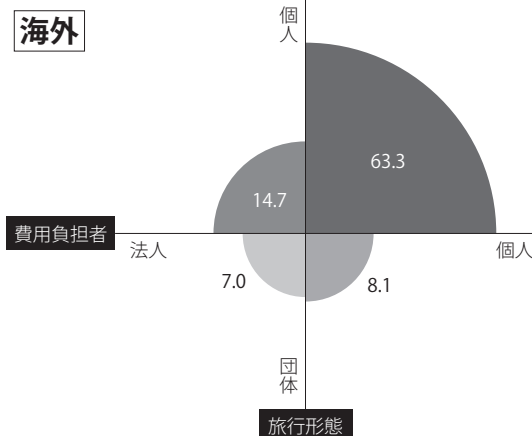
(単位:%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-4 海外旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2019年)

(単位:%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

3 旅行市場区分(観光レクリエーション)

夫婦・カップルの旅行シェアが最も高く約3割5分

(1) マーケットセグメント別の市場シェア

旅行は「誰と行くか」によって、内容が大きく左右される。特に家族旅行の場合、子どもの有無や年齢によって、旅行の内容は大きく変化する。そこで旅行マーケットのセグメンテーションとして、まず「旅行の同行者」を軸にして『家族旅行』『夫

婦・カップル旅行』『友人旅行』『ひとり旅』に大きく区分し、さらにその旅行者の「ライフステージ（配偶者や子どもの有無、子どもの年齢）」を軸として、17のセグメント（3世代家族旅行は除く）に細分化した。（表I-1-4）

セグメントごとのシェアを概観すると、国内旅行、海外旅行ともに、「夫婦・カップル旅行」のシェアが最も高く、次点は「家族旅行」となった（表I-1-5）。

各セグメントに着目した詳細分析は、国内旅行は34～40ページ、海外旅行は55～60ページに掲載した。

表I-1-4 観光・レクリエーション旅行の市場区分

マーケットセグメント		旅行の同行者	ライフステージ
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒に家族旅行（小中高生を含まない）	子供連れ	乳幼児の子あり
	小中高生の子どもと一緒に家族旅行（乳幼児連れも含む）	子供連れ	小中高生の子あり
	18歳以上のみの家族旅行	子供連れ	未子が18歳以上
	※内、3世代家族旅行	親を連れて 3世代で	— —
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	カップルで	—
	夫婦での旅行（子どもなし）	夫婦で	子供なし
	子育て中の夫婦での旅行	夫婦で	未子が18歳未満
	子育て後の夫婦での旅行	夫婦で	未子が18歳以上
友人旅行	未婚男性による友人旅行	友人や知人と	未婚男性
	既婚男性による友人旅行（子どもなし）	友人や知人と	既婚男性・子供なし
	子育て中の男性による友人旅行	友人や知人と	未子が18歳未満
	子育て後の男性による友人旅行	友人や知人と	未子が18歳以上
	未婚女性による友人旅行	友人や知人と	未婚女性
	既婚女性による友人旅行（子どもなし）	友人や知人と	既婚女性・子供なし
	子育て中の女性による友人旅行	友人や知人と	未子が18歳未満
	子育て後の女性による友人旅行	友人や知人と	未子が18歳以上
ひとり旅	男性のひとり旅	自分ひとりで	男性
	女性のひとり旅	自分ひとりで	女性

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

資料：（公財）日本交通公社作成

表I-1-5 観光・レクリエーション旅行の市場区分別のシェア

単位：（%）

マーケットセグメント		国内旅行	海外旅行
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒に家族旅行（小中高生を含まない）	27.7	22.8
	小中高生の子どもと一緒に家族旅行（乳幼児連れも含む）	5.7	3.3
	18歳以上のみの家族旅行	11.7	8.8
	※内、3世代家族旅行	10.3	10.7
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	7.5	5.1
	夫婦での旅行（子どもなし）	35.6	35.5
	子育て中の夫婦での旅行	9.3	6.6
	子育て後の夫婦での旅行	9.0	11.0
友人旅行	子育て中の夫婦での旅行	2.2	2.6
	子育て後の夫婦での旅行	15.2	15.3
	未婚男性による友人旅行	17.8	22.4
	既婚男性による友人旅行（子どもなし）	3.8	4.3
	子育て中の男性による友人旅行	0.9	0.9
	子育て後の男性による友人旅行	1.2	1.4
	未婚女性による友人旅行	2.1	2.5
	既婚女性による友人旅行（子どもなし）	4.4	6.5
ひとり旅	既婚女性による友人旅行	1.4	1.5
	子育て中の女性による友人旅行	0.4	0.7
	子育て後の女性による友人旅行	3.6	4.7
	男性のひとり旅	16.9	17.2
その他	女性のひとり旅	11.1	10.4
		5.8	6.8
全体	2.0	2.1	
	100.0	100.0	

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

資料：（公財）日本交通公社作成

※16歳未満の旅行者はアンケート調査の対象となっていないため、上記シェアからは除外。

(2) 性・年代別にみる同行者別の市場シェア

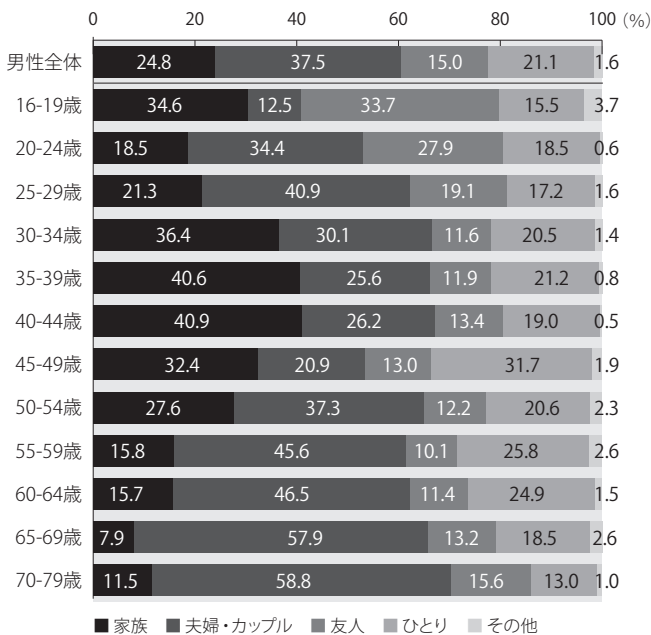
同行者は、年代の移り変わりに伴って変化する。国内旅行についてみると、20歳未満では家族や友人との旅行が中心であるが、20-24歳では家族旅行の割合が低下し、夫婦・カップル旅行の割合が増加する。30代では友人との旅行が減少し、家族旅行の割合が増加する。男女とも、30代から40代にかけて家族旅行が全体の3割超を占める。50代から60代にかけては家族旅行のシェアが減少し、夫婦・カップル旅行のシェアが拡大する。男性は69歳までの各年代でひとり旅の割合が女性よりも高く、15%から30%程度のシェアを占める。女性は25

歳以上の各年代において、35-39歳を除いて友人との旅行が占める割合が男性よりも高い。この傾向は50歳以上の各年代において顕著である。(図I-1-5、図I-1-6)。

海外旅行についても、基本的な傾向は国内旅行と同様である(図I-1-7、図I-1-8)。ただし20-24歳では男女とも友人との旅行の占める割合が国内旅行よりも高い。また全体として女性は友人旅行の割合が男性よりも高く、複数の年代で国内旅行よりも高い比率を示すなどの特徴がみられた。

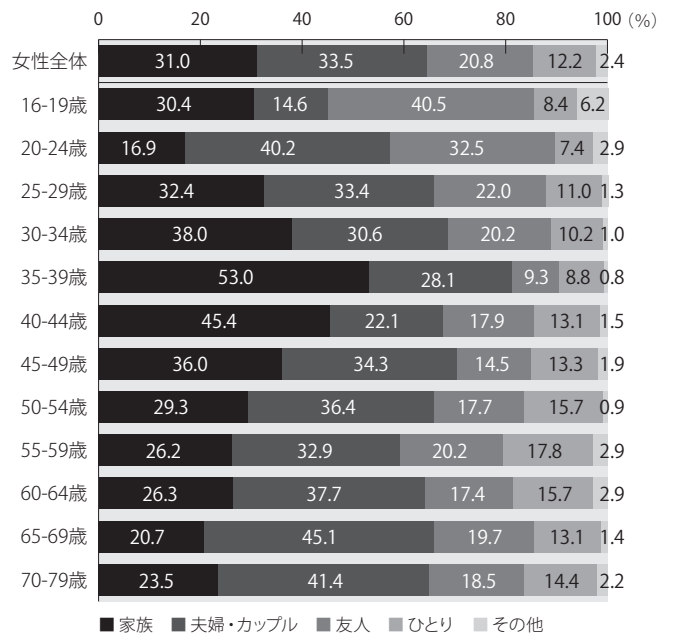
(那須将)

図I-1-5 国内旅行における年代別同行者 (男性)



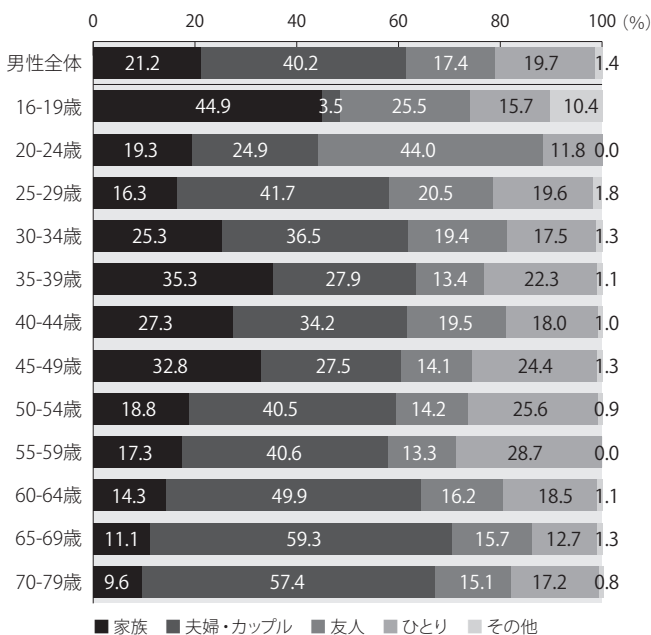
資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-6 国内旅行における年代別同行者 (女性)



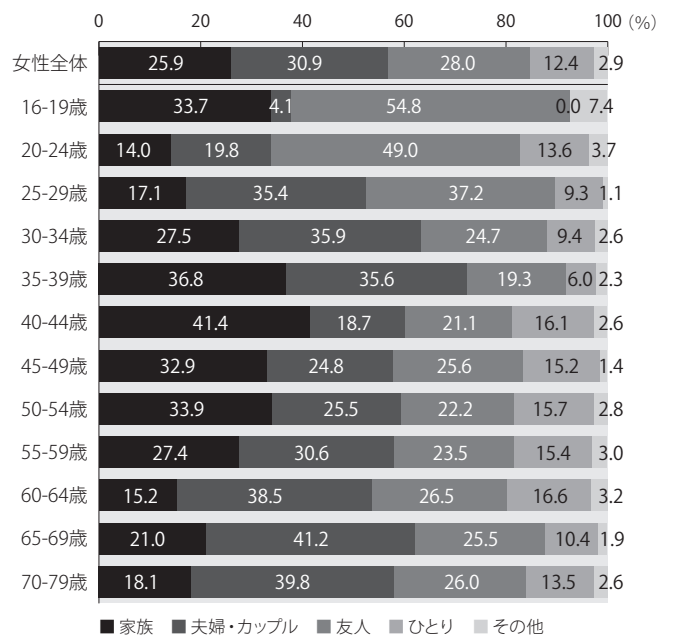
資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-7 海外旅行における年代別同行者 (男性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図I-1-8 海外旅行における年代別同行者 (女性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」